

広島を訪れて

相馬

礼弥

私は平和記念公園を訪れ広島の方々の様々な思いや願いを感じました。

「原爆の子の像」では、折り鶴を捧げた少女の像が立っていていました。その両端には明るく楽しそうな少年少女の像があり、私はこの像を見て、未来の平和や希望、原爆に対しての訴えを感じました。そして、像の下に置かれた石碑にはこのようなことが書かれています。これは私たちの祈りです。世界に平和をきずくためのし、私はこの言葉にとっても感動しました。

七十三年前の悲劇を二度とくり返さぬよう、戦争がどんなに悲惨なものであり、全てを奪ってしまふものなのか、今ある生活がいかに幸せか考えさせられました。次に原爆死没者慰霊碑と平和記念資料館を見学しました。学校で行われたパネル展で見た時とはまた違って、展示物に語りかけられているような感覚

になりました。様々な広島の過去に触れ、目をそむけたくなるような光景、悲しみ、恐しさ、色々な感情が入り混じり、いかに平和な世界が幸せか、戦争はあってはならぬことだと思いました。

広島で体験したことは私に大きな影響を与えてくれました。この今の気持ちも大切にしたいです。広島で原爆について学べて本当に良かったです。